

有明高専だより

第53号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944 53 1011

印刷・重富オフセット

九月一日講話

校長 吉村虎藏

夏休み中、大きな事故もなく、交通事故死ゼロの記録も九七〇日を越えました。揃って元気で登校してくれてありがとうございます。

全国体育大会

開会式は、八月十九日夕、富山市公会堂で約二千名の参加のもと行われました。各校の出場種目と選手団の紹介のもと、各校旗手の入場が始まり、専体協会長、主管校校長、文部大臣、県知事、市長の祝辞、優勝楯返還、レプリカ授与のあと、選手宣誓、大会歌の合唱で厳粛に式を終りました。

その後、引続いて歓迎会に入り、富山高専生会長の歓迎の辞、富山県民謡の演奏、舞踊の披露があり、心のこもった歓迎会を終えました。

翌二十日陸上競技では、本校3C安達君は、走高跳で地区大会での実力が發揮できずに入賞とならず涙をのみましたが、千五百米決勝では5C永松君が堂々と優勝しました。

本校の名前のために活躍しました。この競技の前には、本年は大会新記録が出ていますとの場内アナウンスがあった程、この競技の記録には関係者の期待がかかるていました。大会記録4分4秒7に対して、永松君の記録は4分

5秒2の大記録がありました。地区大会で優勝の佐世保高専の草野君との競合があつたならば、大会新記録が出たであろうと惜まれるところです。バスケットボール部は、予選リーグで石川高専及び大阪府立高専と対戦しました。石川高専には染勝しましたが、大阪府立高専とは54対54の同点で終り五分間の延長戦の末、66対68、而も一秒前の一ゴールで涙を呑みました。地区大会でも、バスケットボール部と同様の惜敗のクラブが多くいますが、来年、再来年の優勝を目指し、早速、基礎体力、スタイル作りに励み、各部とも、顧問、コーチの先生方を中心部員の一致協力のもと、母校の名誉をかけ精進されることを切望いたします。

日本人は日本のすばらしい精神文化の中で大切なものを失いかけています。アメリカの悪い面を真似る傾向にある。」という話を耳にしました。フランスのミッテラン大統領も来日のとき、これと同様のことと言いましたし、桂離宮に「日本美の再発見」を教えてくれました。富山からの帰途、福井の永平寺を訪ね、老若の外人の参詣者の多いのが目にきました。きっと日本の禅に興味をもつ方々と思います。日本の禅や茶道の心があいさつとマナーの基本の心あります。

夏休み中、本校では「一日入学」を行、中学生の先生、父兄、中学

校内美化のため、いくつかのクラブがボランティア活動をしているのを見かけるようになりました。

少年非行暴力の相対に対し、文部省でも対策を計画をしていますが、その対策の中にも、「あいさつ、清掃運動の推進など」が挙げられます。

八月三十日のニュースによりますと、全国交通事故死者数は、六千五百名で昨年より十日早く六千名

を越え、特にバイクと自転車での死者が増加しているとのことです。

本校はバイク、自転車通学生が多いですから、特に事故防止につとめ、自己の生命を大切にするよう切望します。

就職・高専祭

好景氣で就職が安易な時代が永く続くと、学生は勉強を怠りがちになります。就職事情は本年は昨年に比べてどの学科も若干伸びています。ドツツのブルノ・タウトです。富山からの帰途、福井の永平寺を訪ね、老若の外人の参詣者が多いとのことです。三、四年生はこのことを心に留めておいてほしい。また五年生は就職が内定する、採用人数を減らす企業、成績の良い学生をと注文をつける企業が多いとのことです。

現在資料室に收められているものなかから幾つかの品を拾つてみると、開校式当時の文部大臣荒木寿夫氏の祝辞、初代校長牛尾先生の祝辞、学生会の種々な出版物、高専祭、体育祭のポスター、寄宿舎の表札、学生の寄せ書、火鉢、豆炭行火、オ10回花壇コンクールの表彰状など、創設期に在学した同窓生生活をした人は懐しい品々が集められています。今後も関係各方面の協力を得て内容充実を計ることになっています。

志の方々の御協力を心からお願いしたい。

(修己館)

一、事故防止
二、環境美化
三つのキャンペーん
周知のよう、本校では四月から、二つの目標をかけて、全校運動をはじめています。
一、あいさつとマナー
二、環境美化

C安達君は、走高跳で地区大会での実力が發揮できずに入賞とならず涙をのみましたが、千五百米決勝では5C永松君が堂々と優勝しました。この競技の前には、本年は大会新記録が出ていますとの場内アナウンスがあった程、この競技の記録には関係者の期待がかかるっていました。大会記録4分4秒7に対して、永松君の記録は4分

5秒2の大記録がありました。地区大会で優勝の佐世保高専の草野君との競合があつたならば、大会新記録が出たであろうと惜まれるところです。バスケットボール部は、予選リーグで石川高専及び大阪府立高専と対戦しました。石川高専には染勝しましたが、大阪府立高専とは54対54の同点で終り五分間の延長戦の末、66対68、而も一秒前の一ゴールで涙を呑みました。地区大会でも、バスケットボール部と同様の惜敗のクラブが多くいますが、来年、再来年の優勝を目指し、早速、基礎体力、スタイル作りに励み、各部とも、顧問、コーチの先生方を中心部員の一致協力のもと、母校の名誉をかけ精進されることを切望いたします。

日本人は日本のすばらしい精神文化の中で大切なものを失いかけています。アメリカの悪い面を真似る傾向にある。」という話を耳にしました。フランスのミッテラン大統領も来日のとき、これと同様のことと言いましたし、桂離宮に「日本美の再発見」を教えてくれました。富山からの帰途、福井の永平寺を訪ね、老若の外人の参詣者が多いのが目にきました。きっと日本の禅に興味をもつ方々と思います。日本の禅や茶道の心があいさつとマナーの基本の心あります。

夏休み中、本校では「一日入学」を行、中学生の先生、父兄、中学



がいしの衝撃電圧試験

參加者配布資料

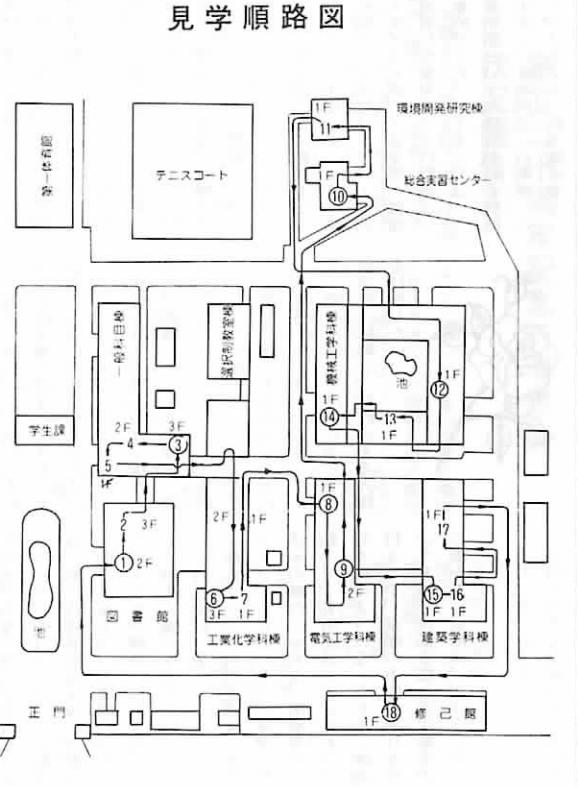
1. 1日入学
(有明高専の紹介)実施要領
説明会場配置図
(図書館視聴覚室)
班編成一覧表
 2. 有明高専案内
(中学生の諸君へ)
 3. 教育課程表

「一日入学」アンケート集計結果（二つ以上答えた者、そのまま集計）――

項目	内 訳	全 体 (人)	中 学 生 (人)	教 員 (人)	保 護 者 (人)
1. アンケート記入者		2 5 8	2 0 1 (77.9%)	2 4 (9.3%)	3 3 (12.8%)
2. あなたは、本校の「一人入学」実施について、次のどの方法により知りましたか。	ア. 中学校からの連絡	2 3 6 (91.5%)	1 9 4 (96.5%)	1 7 (70.8%)	2 5 (75.8%)
	イ. 新聞等	1 4 (5.4%)	1 0 (5.0%)	0	4 (12.1%)
	ウ. その他の	1 3 (5.0%)	2 (1.0%)	7 (29.2%)	4 (12.1%)
3. あなたは、有明高専をどの程度知っていますか	ア. 良く知っている	1 4 (5.4%)	7 (3.5%)	4 (16.7%)	3 (9.1%)
	イ. ある程度知っている	1 5 8 (61.2%)	1 2 8 (63.7%)	1 7 (70.8%)	1 3 (39.4%)
	ウ. 全く知らない	8 6 (33.3%)	6 6 (32.8%)	3 (12.5%)	1 7 (51.5%)
4. あなたの身内の人に有明高専を勧められた方、在学中の人がいますか。	ア. 産業者がいる	2 9 (11.2%)	2 0 (10.0%)	3 (12.5%)	6 (18.2%)
	イ. 在学生がいる	2 4 (9.3%)	1 8 (9.0%)	6 (25.0%)	0
	ウ. 該当する者はいない	3 0 9 (81.0%)	1 6 5 (82.1%)	1 7 (70.8%)	2 7 (81.8%)
5. あなたは、有明高専を見学されて「高専」について、ある程度理解が深まったと思いますか。	ア. は い	2 1 2 (82.2%)	1 5 6 (77.6%)	2 4 (100%)	3 2 (97.0%)
	イ. い え	6 (2.3%)	6 (3.0%)	0	0
	ウ. わからぬ	4 0 (15.5%)	3 9 (19.4%)	0	1 (3.0%)
6. あなたが有明高専を見学されて、感じたことは。	ア. 施設が整っている	1 4 4 (55.8%)	1 1 9 (59.2%)	9 (37.5%)	1 6 (48.5%)
	イ. 実験設備等が充実している	1 2 0 (46.5%)	8 4 (41.8%)	1 6 (66.7%)	2 0 (60.6%)
	ウ. その他の	1 0 (3.9%)	9 (4.5%)	1 (4.2%)	1 (3.0%)

7. その他（感想および知りたいことで二名以上が書いたこと。）

- ① 設備が充実していた。 (12名)
 - ② クラブ活動について知りたい。 (14名)
 - ③ 説明が難しかった。 (12名)
 - ④ 修己館 (食事) 関係。 (3名)
 - ⑤ 進路指導の役に立った。 (3名)
 - ⑥ 子供を入学させない。一年生の子供が三年生にならは禁止見学させない。 (2名)
 - ⑦ 環境が良い。 (2名)



一日入学に中学生集う

八月五日

高等専門学校発足以来二十年を経過し、産業界より高く評価されねども、その間に社会に対する高専に対する認識は上分とは云ふべくはない状態にあると思われる。本校においても、「有明高専導入内（中学生の諸君へ）」を中心とした学校に配布し本校に対する理解を求める等、また公開講座を開く等、高専に対する認識を高めるための努力が継続的に行なわれてきた。

本年、創立一十周年を迎へ、本校として更にこのための積極の方策として一日入学を実施することが五月中旬決定された。

この一日入学は学校近郊の中学生、父兄、中学の先生方を本校に招き、本校の施設、教育内容を紹介することにより、高専の教育制度に対する認識を深めていただくことを目的としたものである。

次いで具体的な実施案の作成に

本年、創立三十周年を迎へ、本校として更にこのための積極の方策として一日入学を実施することが五月中旬決定された。

有明高専だより

一日入学(有明高専の紹介)実施要領

2. 日 程

第1組 (1班~10班)

第1組 (1時~1時半)	第2組 (1時半~2時)
受付 9:00~ 9:20	受付 11:00~11:20
ガイダンス 9:20~ 9:30	ガイダンス 11:20~11:20
概況説明 9:30~10:00	概況説明 11:30~12:00
校内見学 10:00~12:40	昼食 12:00~12:50
昼食 12:40~13:30	校内見学 12:50~13:30
質疑応答 13:30~14:00	質疑応答 15:30~16:00

※質疑応答終了後希望者だけ寄宿舎見学

3. 会 場

- (1) 受付 図書館1階ロビー
(2) ガイダンス ✕ 3階視聴覚室
(3) 概況説明 ✕
(4) 質疑応答 ✕

4. 見学コース順 (見学順路図による)

を依頼した。次いで7月4日同じく学生課長と共に、朝日、毎日、読売、西日本、NHKの各支局、通信部、有明新報社をたずね広報についての依頼をした。両市の教育委員会、広報の係、各新聞社の各支局は本校の主旨に理解を示され、荒尾市広報六月十五日号には「一日入学の紹介記事が掲載されました」次いで7月6日西日本新聞筑後版には「一日体験入学しませんか」という見出しで大きく紙面を割き広報に御協力戴いた。更に統一各新聞社紹介記事を掲載され、このためか遠くの地区からも問合せが本校に寄せられた。



各学科の見学場所及びテーマ

番号	テ　ー　マ	学　科　等	見　学　場　所
1	図書館見学	図　書　館	1F・2F
2	電子計算機	電子計算機室	図書館3F 電算室
3	語学教材視聴・一般科説明・ 化学実験説明		3F L・L教室
4	物理実験	一　般　科	2F 物理実験室
5	化学実験室見学		1F 化学実験室
6	カロチンの分析	工業化学科	3F 計測実験室
7	臨界レイノルズ数		1F 化学工学科実験室
8	がいしの衝撃電圧試験		1F 高圧実験室
9	マイクロ波通信実験 ロボット・マイコン展示	電気工学科	2F 電子実験室 2F 通信実験室
10	環境風洞	総合実習センター	1F
11	地震灾害シミュレーション装置	環境開発研究施設	1F
12	機械実習		1F 機械工場
13	NC フライス盤加工	機械工学科	1F 工作実験室
14	鋼材引張試験		1F 材料実験室
15	製図・模型展示説明・他		1F 造形室
16	・日照日影実験		1F スライド室
17	コンクリート圧縮強度実験 RC柱加力実験 (±20ton サーボバルサー)	建築学科	1F 構造実験室 ♪
18	修己館見学	修　己　館	

教室通信

機械工学科

池辺賢一郎君 43 □ PHILSECO SUBICYARD CABAN GAH PT. BO CAWAG SUBIC ZAMBALES PHILIPPINE 出身地
奥石修君 43 □ 出光興産仙台支店 〒980 仙台市中央区中央4-1-8 出光興産㈱ TEL0222-67-3111
寺本(瀬上) 滉君 43 □ 〒861-41 京都市北区見附町3655
山田泰宏君 43 □ 日立冷熱住設(株) 大阪営業所 〒550 大阪市西区西本町1-2 西本町全日空ビル TEL 06-531-9111
吉田恭夫君 43 □ ソニー株音響事業部トランステューサー T.M. プロジェクト室 〒108 東京都港区港南1-7-4 TEL 03-472-7754
田口勝明君 43 □ ㈱三井工作所社営業室 〒806 北九州市八幡西区小倉 〒093-6111-1331
米田光君 44 □ 松下電工㈱東京エンジニアリングセンター 〒108 東京都港区芝4丁目8-2 TEL 03-454-6111
柳島謙一君 46 □ 〒661 兵庫県尼崎市東園町7丁目11-1 東園町4棟6棟106号 〒06-491-2874
有馬育郎君 47 □ 〒840 佐賀市神野4-15-1 来広ビル315 〒0952-31-5591
新村次男君 47 □ 〒273 船橋市行田町15-2 行田園地1-14-901
松森政純君 47 □ 〒919-22 横井郡大飯高浜町宮崎87-14-2
中村哲美君 47 □ ㈱本田技研研究所
森田秀之君 48 □ 長崎県陸運事務所佐世保支所 〒851-7 佐世保市中新町5-5
江頭邦広君 49 □ 九州松下電器(株)
鈴木広一君 49 □ 清水建設㈱バグネットへ出張中
深井昭彦君 49 □ 〒336 埼玉県浦和市文藏3-28-1 吉川マンション505号
堤健一郎君 50 □ 〒803 北九州市小倉北区篠崎5丁目16-2-303
牧敏君 51 □ 日鉄運輸退社
酒上誠志君 51 □ 〒227 横浜市緑区枝町449-39
入江誠二君 51 □ ㈱防衛施設局建設設備課 〒900 岐阜市久米一丁目5-4 TEL0988-68-0174
小田史朗君 51 □ 本公司技術鑑定製作所
大辻章君 52 □ 末吉工業㈱退社
小畠久之君 52 □ 日空鉛筆業㈱ 〒859-45 桐生市今福
上野茂君 51 □ ㈱不二屋 〒655 神戸市垂水区多聞町小東山975-1 〒655 神戸市垂水区本多聞5丁目1番163-306号 TEL078-29-2967
野田茂実君 52 □ 〒985 宮城県宮城郡七ヶ浜町東浜御林3-17 〒02236-5-9736
田嶋憲一君 52 □ 〒806 北九州市八幡西区森下町24-5 親和寮
友田康二君 55 □ 〒243-04 えびな市中野760 日立えびな寮 〒0462-38-4401
森内稔君 55 □ 〒895 仙台市宮里町2443-1 西日本プラン第1号
本松宏海君 55 □ 日本情報通信システム㈱ 〒150 東京都渋谷区渋谷2-22-3 渋谷東口ビル11F TEL03-499-2872 □ 〒270-11 千葉県安孫子市並木5丁目2-19かずみ塚3号
野間口勝君 55 □ ㈱興産技術㈱ 〒816 福岡市南区高木2丁目8-7 TEL092-582-1421

藤原祐介君 56 □ 梅竹中工務店 〒810 福岡市中央区天神2丁目14-8 TEL092-711-1211
○ 〒816 大野城市上大利332-2 竹友寮 TEL092-571-2711
川原英司君 57 □ 〒470-12 愛知県豊田市永覚新町2丁目56番地 第2永覚アパート14405号室
鳴村美智広君 57 □ 〒804 北九州市戸畠区見附1丁目5-30 新日鉄小沢見附 TEL093-871-5201
木原敬一郎君 58 □ トヨタ自動車㈱ 〒471 爱知県豊田市丸山町9丁目1番1丸山豊富君、堺増弘君
○ 48年卒(1期生)荒金忠一君、佐藤はるな君、塚本善策君、本田博信君
○ 44年卒(2期生)高倉寛昭君、藤河房雄君
○ 45年卒(3期生)田中裕昭君、前畠義昭君、村上文敏君
○ 46年卒(4期生)近田政広君、森邦雄君
○ 47年卒(5期生)岡村博行君、小宮治治君、野田富広君、堺増弘君
○ 48年卒(6期生)石井政敏君、石橋省三君、竹下祐二君、筑紫和利君、原保夫君
○ 49年卒(7期生)浜崎誠君、益田昌明君、山本雄文君
○ 50年卒(8期生)江口和隆君、岡村正幸君、葛原誠也君、古庄清一君、森下照正君
○ 51年卒(9期生)石松正徳君、片山匡君、坂口吉彦君、當田康裕君
○ 52年卒(10期生)北里弘行君、米田紀雄君
○ 53年卒(11期生)岩井晴夫君、長船正純君、徳川英基君、松本幸雄君
○ 54年卒(12期生)宮崎伸夫君
○ 55年卒(13期生)矢元拾之君
○ 56年卒(14期生)横山正徳君
○ 57年卒(15期生)なし

電気工学科

○次の方が結婚されました。おめでとうございます。

雪野昭寛君 45 新婦は昌子さん(旧姓・吉成) 新居 〒560 寛面市桜ヶ丘3丁目8番 B棟232号 TEL027-21-1754
津端理君 49 昨年10月に挙式。新居 〒335 埼玉県行田町1-16-27 沖電機社宅104号
柿添弘之君 55 新婦は咲世子さん(旧姓・椎木) 新居 〒661 小山県尼崎市浜2-15-5 ビルメンション404号 TEL 06-497-1032
○次の方に住所等の変更がありました。
渡辺健一君 48 勤務先 福岡県久留米市小森野町1232 久留米工業高等専門学校 会計課秘書係 住所 〒836 大牟田花園町64
小野田惟君 46 (安川エンジニアリング勤務) 住所 大阪府吹田市千里山東1-17-36 安川商事
中野山伴 〒06-388-3977
眞崎哲夫君 53 (㈱美向) 勤務 住所 熊本市本荘6丁目16-33
坂本ハイコ303号
高口憲二君 52 東芝 勤務 久々に海外(西ドイツ)勤務の予定
○次の方々が電気工学科を来訪されました。
湯原秀昭君 48 磯浜健一48 井原信弘君49 高口憲二君52、山本勝喜君53、釣野信昭君54、吉貢稔君54、堤豊君55、坂本和昭君55、○以下56、久保田桂二君、中山富夫君、井上隆二君、水原誠二君、豊口豊君、○以下57、川原季君、堤和浩君、山口通広君、丸山誠義君、工藤信幸君、坂田明宏君、北島和浩君、○以下58、中津川君、三田和弘君、青木毅君、荒牧英幸君、東誠一郎君、宮本泰祐君、松崎義和君、河原信祐君、猪口和幸君、宮脇茂君、山田浩君、福留裕君、鳴田秀明君、三田和弘君、深浦清久君、中尾輝雄君、今村家男君、小柳憲二君、岩下展二君、幸田竹司君、高岡浩一君、中嶋清君、砂川信雄君、池上哲二君、
井原信弘君49 日本電装KK勤務 近々、しばらくの間海外(アテネ)勤務になります。

○お頼い 本学科卒業生は、今年3月で16期生が卒業し、この間、転職、転勤などはあります。以下にかかげる方々の所在が不明となる

ています。
御心当りの方は、御面倒ですが、電気工学科までお知らせ下さい。

○43年卒(第1期生)荒金忠一君、佐藤はるな君、塚本善策君、本田博信君
○44年卒(2期生)高倉寛昭君、藤河房雄君
○45年卒(3期生)田中裕昭君、前畠義昭君、村上文敏君
○46年卒(4期生)近田政広君、森邦雄君
○47年卒(5期生)岡村博行君、小宮治治君、野田富広君、堺増弘君
○48年卒(6期生)石井政敏君、石橋省三君、竹下祐二君、筑紫和利君、原保夫君
○49年卒(7期生)浜崎誠君、益田昌明君、山本雄文君
○50年卒(8期生)江口和隆君、岡村正幸君、葛原誠也君、古庄清一君、森下照正君
○51年卒(9期生)石松正徳君、片山匡君、坂口吉彦君、當田康裕君
○52年卒(10期生)北里弘行君、米田紀雄君
○53年卒(11期生)岩井晴夫君、長船正純君、徳川英基君、松本幸雄君
○54年卒(12期生)宮崎伸夫君
○55年卒(13期生)矢元拾之君
○56年卒(14期生)横山正徳君
○57年卒(15期生)なし

ています。
御心当りの方は、御面倒ですが、電気工学科までお知らせ下さい。

○43年卒(第1期生)荒金忠一君、佐藤はるな君、塚本善策君、本田博信君
○44年卒(2期生)高倉寛昭君、藤河房雄君
○45年卒(3期生)田中裕昭君、前畠義昭君、村上文敏君
○46年卒(4期生)近田政広君、森邦雄君
○47年卒(5期生)岡村博行君、小宮治治君、野田富広君、堺増弘君
○48年卒(6期生)石井政敏君、石橋省三君、竹下祐二君、筑紫和利君、原保夫君
○49年卒(7期生)浜崎誠君、益田昌明君、山本雄文君
○50年卒(8期生)江口和隆君、岡村正幸君、葛原誠也君、古庄清一君、森下照正君
○51年卒(9期生)石松正徳君、片山匡君、坂口吉彦君、當田康裕君
○52年卒(10期生)北里弘行君、米田紀雄君
○53年卒(11期生)岩井晴夫君、長船正純君、徳川英基君、松本幸雄君
○54年卒(12期生)宮崎伸夫君
○55年卒(13期生)矢元拾之君
○56年卒(14期生)横山正徳君
○57年卒(15期生)なし

なるべくすみやかに工業化学科事務室までお知らせ下さい。

建築学科

○西日本新聞社主催「語らいの家」小住宅設計コンテストにおいて4A平田佳子君、同藤浦正道君が夫々佳作、入選の賞を得ました。

○福岡県建築士事務所協会主催の「福岡県内工業高校生並びに専門学校生による建築設計競技」(9月)において、A大橋正弘君が金賞、同岡啓輔君が銅賞、同寺田尚彦君、岩永浩君が佳作に入選しました。

○以下の方々が結婚されました。おめでとうございます。

黒田保男君(52)退職し自営。
5/11新婦順子さん

浦部誠司君(54)新婦珠紀さん
福山照郷君(54)10/23
大森(田姓中島)洋子君(54)10/29
堺淳三君(55)10/10 新婦文重さん

寺岡英一君(48)4月より鴻池組入社。
北原英治君(49)〒233 横浜市港南区岸ヶ谷2-22-337

田尾浩一君(52)〒862 ㈱本巣健軍町2694-34福寿荘
大佐古伸次君(53)□日本道路公団東京第一建設局(273)船橋市海神3-23-62 道路公团船橋寮 〒047-33-8330

福島一義君(55)5/14付でサウジアラビアへ出張(20ヶ月)
MITSUBISHI HEAVY IN-DUSTRIES LTD TEDDAH REPRESENTATIVE PO. BOX. 7105 TEDDAH SAUDIARABIA

小川伸司君(56)□転勤 鉄道技術研究所建築研究室 〒185 東京都国分寺市光町2-8-38
TEL0963-22-0427

小川芳弘先生の新住所 〒861-11熊本県菊池郡西合志町須屋214の1 グリーンハイツ103号(TEL093-63-38-4176)
卒業生の消息

○住戸変更 松竹津多子さん(54年卒) 〒567 茨木市総持寺1丁目17の24 宝西ハイツ
柿添弘之君55 新婦は咲世子さん(旧姓・椎木) 新居 〒661 小山県尼崎市浜2-15-5 ビルメンション404号 TEL 06-497-1032
○次の方に住所等の変更がありました。
渡辺健一君 48 勤務先 福岡県久留米市小森野町1232 久留米工業高等専門学校 会計課秘書係 住所 〒836 大牟田花園町64
小野田惟君(46年卒) 勤務先 〒211 川崎市中原区井田1618
大踏伸一君56 (安川エンジニアリング勤務) 住所 大阪府吹田市千里山東1-17-36 安川商事
中野山伴 〒06-388-3977
眞崎哲夫君58 (㈱美向) 勤務 住所 熊本市本荘6丁目16-33
坂本ハイコ303号
高口憲二君52 東芝 勤務 久々に海外(西ドイツ)勤務の予定
○次の方々が電気工学科を来訪されました。
湯原秀昭君 48 磯浜健一48 井原信弘君49 高口憲二君52、山本勝喜君53、釣野信昭君54、吉貢稔君54、堤豊君55、坂本和昭君55、○以下56、久保田桂二君、中山富夫君、井上隆二君、水原誠二君、豊口豊君、○以下57、川原季君、堤和浩君、山口通広君、丸山誠義君、工藤信幸君、坂田明宏君、北島和浩君、○以下58、中津川君、三田和弘君、青木毅君、荒牧英幸君、東誠一郎君、宮本泰祐君、松崎義和君、河原信祐君、猪口和幸君、宮脇茂君、山田浩君、福留裕君、鳴田秀明君、三田和弘君、深浦清久君、中尾輝雄君、今村家男君、小柳憲二君、岩下展二君、幸田竹司君、高岡浩一君、中嶋清君、砂川信雄君、池上哲二君、
井原信弘君49 日本電装KK勤務 近々、しばらくの間海外(アテネ)勤務になります。

○お頼い 本学科卒業生は、今年3月で16期生が卒業し、この間、転職、転勤などはあります。以下にかかげる方々の所在が不明となる

同窓会総会案内

59年1月2日

午前11時~

於 大牟田ガーデンホテル

機械工学科

1. 総合実習 (清森) 笠原忠士・吉野宏一・渡辺研
2. 同上 (センサー移動装置) (田口) 大坪義則・西田宏美
3. 一様空気流れ中の回転球に働く力について (木本)

4. 18-8 ステンレス鋼の拡と軟鋼の拡散溶接 (小田・宮川) 鶴田徹・石原堅

5. 爆発硬化した高Mnオーステナイト鋼の物性に関する研究 (小田) 荒木浩二・平川幸治

6. 高Mnオーステナイト鋼の疲労に関する研究 (大山・小田) 岩根有希・山内康

7. 高Mnオーステナイト鋼のX線応力測定 (宮川・大山・小田) 入江康裕・立山登志夫

8. 多翼送風機の実験的研究 (清森) 松永幸博・黒田真功
9. 二重管内における気液二相流の研究 (猿渡) 上村修生・松田光晴

10. ヒートパイプの性能に関する研究 (下村) 深町明・水永一男

11. 減圧下におけるリチウムプロマイド水溶液の沸騰伝熱 (下村) 池松郁也・谷口洋

12. 単刃リーマの研究 (田口) 角田隆之・山田靖治
13. 深穴加工の研究 (田口) 田代一浩・森慎二

14. 断面変化のある片持ばかりの横振動について (大山・木村) 大石崇晴・松本修一

15. 三次元境界層流の安定性に関する研究 (山下) 永田正昭・登川康則

16. ラーニングモジュールに関する研究 (石崎) 佐々木真一・上土井一臣

17. 潜熱蓄熱装置に関する理論的研究 (吉田) 竹英昭・藤瀬光利

電気工学科

1. ディジタル制御システムの基礎研究 (荒木) 板橋幸男・久富利男・藤本克二郎

2. 誘導電動機の設計と製作 (武下) 中島隆治・三砂忠
3. 交流電動機制御の研究 (武下) 深町公・後藤貴史
4. 鉄共振の応用 (須藤) 森崎康夫・村上博

5. 磁気もれ変圧器の設計 (須藤)

6. 過渡現象解折プログラムの作成 (辻) 堀塚和英・桑原浩文・酒村浩二

7. 電気回路解折プログラムの作成(辻) 小島勇司・野田幸伸
8. PPLLの応用 (近藤) 内田浩幸・平川浩紹・諸藤康夫

9. PLAを用いた論理回路の設計 (近藤) 和田卓也・福島匡浩

10. 電気集塵装置の放電線振動現象について (浜田) 青木信広・佐藤修司

11. 電気集塵装置のイオン風について (浜田) 坂本光弘・田島浩二

12. 磁歪振動子の入力インピーダンスについて (小沢) 宮崎誠也・角田一誠

13. 消音器の製作 (小沢) 阿久根利宗・原田克也
14. 8086クロスアセンブリの作製 (松野)

15. 8086シミュレータの作製 (松野) 古賀智文・高石敬一・村田真也
16. 試料振動型磁力計の試作 (永守) 則島義昭・吉田寅信

昭和59年3月卒業予定学生諸君の卒業研究テーマを学科別に示す。報文番号・報文題名・指導教官名・学生姓名の順に示す。

工業化学科

1. 有明海海水中の微量成分の分析 (勝田) 江川大海・木村幸弘
2. 写真廃液の銀の回収実験 (勝田) 永松哲雄・古野善作

3. 金属錯体の熱分解及び電子衝撃による分解に関する研究 (城戸) 河野泰二・木田雄二

4. 金属錯体の電気化学的研究 (城戸) 北口健一・武本雅達
5. マイクロコンピューターによる三次画像 (石橋) 大川修・広田哲也・広松豊

6. ウリカーゼによる尿酸の分解反応 (永田) 木戸直徳・藤丸光児・松本敏彦

7. PGC-M/Sによるポリウレタンの熱分解の検討 (吉武) 石橋浩文・危田宏行・野田努

8. ポリウレタンモデル化合物のマススペクトルによる熱分解機構の検討 (吉武) 松尾智美
9. 線状ポリウレタンのマススペクトルによる熱分解機構の検討 (吉武) 山本薰

10. 親水性ゲルの合成 (松本) 中野昇司・中野昇司

本校は今年創立三十周年を迎え
この機会に総合実習の経過を簡単
にふりかえって、最後に今後の研究課題についてもふれてみたい。
各高専独自の特色を出してほしい
いという文部省の要望に対し、
本校も昭和四十六年初頭から専門委員会が発足し「総合実習センタ
ー」の構想が打ち出され、新しい実習概要の決定とともに第一次プロジェクトとして当地的公害事情解明に役立つことをという観点から環境風胴の設置が決まった。
その後各地にある風胴の調査研究がなされ、風胴模型を製作し検討が加えられた。昭和四十八年度「総合実習概要」が決定されたのが昭和四十九年であった。総合実習概要の決定とともにオーナー工学教育研究施設の名で文部省から認められたが予算化されなかつた。しかし、文部省から、プロジェクトによる教育研究としての経費をもらい昭和五一年四月から総合実習の計画に着手した。昭和五十六年度、「地域環境開発共同教育研究施設」の予算の示達があり年度末に完成した。昭和五十一年からの経過報告は、「有明高専だより」二十九号以来今度で十九回になる。

本年度前期は製作成時期であり立った作業内容はなかつたが、單に説明する。

一、四月から空気取入れチャンバー



総合実習リポート(19)

写真 チャンバー
ガラリの取付
空気取入れチャンバー

本校は今年創立三十周年を迎え
この機会に総合実習の経過を簡単
にふりかえって、最後に今後の研究課題についてもふれてみたい。
各高専独自の特色を出してほしい
いという文部省の要望に対し、
本校も昭和四十六年初頭から専門委員会が発足し「総合実習センタ
ー」の構想が打ち出され、新しい実習概要の決定とともにオーナー工学教育研究施設の名で文部省から認められたが予算化されなかつた。しかし、文部省から、プロジェクトによる教育研究としての経費をもらい昭和五一年四月から総合実習の計画に着手した。昭和五十六年度、「地域環境開発共同教育研究施設」の予算の示達があり年度末に完成した。昭和五十一年からの経過報告は、「有明高専だより」二十九号以来今度で十九回になる。

本年度前期は製作成時期であり立った作業内容はなかつたが、單に説明する。

一、四月から空気取入れチャンバー

体育クラブ新チーム

来年度の抱負と目標

陸上部

来年に向けての目標

一、記録会や競技会を数多く経験し、九州地区大会において、自己のベストを出せる様に努力する。

一、今年の大会の上位入賞者が残っており、部の中で上級生の占める率がふえるので、上級生が中心になって下級生をリードし、部員全員が優勝を目指ります。

今年の九州地区高専大会では決める率がふえるので、上級生が中心になって下級生をリードし、部員全員が優勝を目指ります。

ハンドボール部

我々、ハンドボール部は、今年

個人の戦いといわれるテニスで

あるが、クラブとして勝つために

来年に向けての目標

今後もチーム一丸となつて、大会に臨みたいと思う。

今年の九州地区高専大会では決

めの率がふえるので、上級生が中

心になって下級生をリードし、部

員全員が優勝を目指ります。

剣道部

今年度の抱負として、残念なが

未敗れてしましました。これは、

他校に比べ、シュート力と体力に

に劣っているためだと思います。

そこで、来年の高専大会へ向けて

それらを克服するため体力強化及

び技術のレベルアップに努めると

ともに、最後に、ゴールへの執念

とともに、攻撃的なディフェンスという二

つをモットーとして、バック進して

いくつもりです。

ハンドボール部は、今年

個人の戦いといわれるテニスで

あるが、クラブとして勝つために

来年に向けての目標

今後もチーム一丸となつて、大会に臨みたいと思う。

今年の九州地区高専大会では決

めの率がふえるので、上級生が中

心になって下級生をリードし、部

員全員が優勝を目指ります。

今年の九州地区高専大会では決

めの率がふえるので、上級生が中

心になって下級生をリードし、部

卓球部

本年度の抱負として、残念なが

好成績をあげられなかった今

年の大会以上に、技術的・体力的

にも確実にレベルアップさせよう

と思います。又、精神的にも各々が

自分の力に満足しないで、向上意

向を發揮するため日々努力して

頑張ります。

ハンドボール部は、今年

個人の戦いといわれるテニスで

あるが、クラブとして勝つために

来年に向けての目標

今後もチーム一丸となつて、大会に臨みたいと思う。

今年の九州地区高専大会では決

めの率がふえるので、上級生が中

心になって下級生をリードし、部

員全員が優勝を目指ります。

編集後記

経験を通して、今後の試合、そ

して、最終目標の高専大会で勝利

をさめ、全国大会へのキップを

手に入れることです。

○八月五日は酷暑の一日前で、有明高専を地域の人々に正しく理解してもらうために、今年初めて「一日入学」を中学生諸君に

に臨みたいと思う。

そこで、来年の高専大会へ向けて

それらを克服するため体力強化及

び技術のレベルアップに努めると

ともに、最後に、ゴールへの執念

とともに、攻撃的なディフェンス

とをモットーとして、バック進して

いくつもりです。

ハンドボール部は、今年

個人の戦いといわれるテニスで

あるが、クラブとして勝つために

来年に向けての目標

今後もチーム一丸となつて、大会に臨みたいと思う。

今年の九州地区高専大会では決

めの率がふえるので、上級

有明高専だより

昭和58年11月5日

関連などの教材構造を系統的に把握したのち、学習目標が何であり、その学習目標に到達させるにはどうすればよいかなどを加味してフローチャートを作らなければならぬ。筆者はこのフローチャート作成に、システム的な考え方を導入して教育効果をあげるフローチャートを作成しようと考えている。

すなわち、(1)教材を分析し、教材構成するための要素が何であるかを見つける。

(2)教育目標達成のために、教材を構成している要素を最適に組み合わせる。

(3)現場で実際にためしてみる。

(4)その結果を見て、さらに教育効果をあげる要素の組み合せの改善をはかる。

以上のような方針でフローチャートを作つてみるとあるが、初めからすべての科目について教材構造を把握することは不可能であることは言うまでもない。したがつてまず一科目でもよいから教材構造の分析を行ない教材構成している要素を抽出し、要素間の有機的な配列を考えて全体的な構造を決定しフローチャートを作成し、次にフローチャートにした



写真2 空気取り入れチャンバー北壁のガラリ取付
(機械工学科 石崎)



写真3 空気取り入れチャンバー内の風胴吸込み縮流部



写真4 空気取り入れチャンバー外壁すきまをブロックにてふせぐ



写真5 空気取り入れチャンバー フィルターの製作



写真6 ガラリ部材の塗装

がつてラーニングモジュールも作成してみようと思う。とりあえず筆者の専門である物理について、各研のテーマとしてとりあげ、研究してみるつもりである。一教科についてのフローチャートとランニングモジュールができれば、あとはこれを参考にして液体・振動等の他の教科についてもわりと楽にできるものと思う。

また思考法に帰納法と演繹法があることは誰でも知っているがアルゴリズムについての認識が不足しているのではないか。たとえば数学の問題を解く場合を考えると、計算の手順とか、問題解決のパターンというものがある。この一定パターンのくり返しで問題を解くわけであるが、この訓練が不足しているのではないか。

な事がよくいわれる。しかし、音譜も読めない、楽器は何も演奏できないという人に何が作曲などできようか。絵事、絵筆の使い方を知らないで何で絵がかけようか。今日の日本の教育現場では創造という美名にかられて眞の指導と訓練がないがしろにされているきらいがある。